

# Channel MORIOKA

アマチュア無線盛岡クラブ

SINCE 1949

平成15年7月号

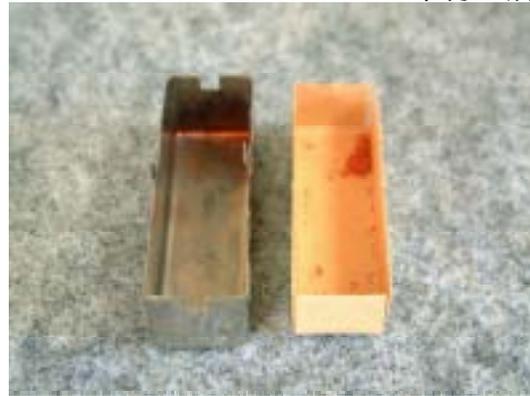
JA7YCE

ホームページ <http://member.nifty.ne.jp/ja7yce/>

## メカニカルフィルターのメンテナンス

JA7QQQ 中村 浩

忘れてしまったような記事の続きとなります。前回は内部の洗浄をご説明しました。右の写真はメカフィルのケースです。下の写真は取り出した状態の内部です。洗浄はこの頑固な異物と化したスポンジの化け物との戦いです。この化け物ときたらケース内部のカバー(右の白いヤツ)はもとより、本体の細部までくっついている、と言うよりは、触るとベタベタ余計なところまで入り込んでしまうと言う代物、弾力なんかとっくの昔に何処かに飛んでいってしまい、出来損ないの接着剤みたいになっています(もちろん固まることは有りませんし糸を引くこともない)。作業中に指にくっついた時には持っているピンセットはベタベタになるは、自分が触ったところは子供の食い散らかしみたいな状態になる。そこでやっと前回に続き、ベビーパウダーの登場です。元来不器用な私は最近仮性老眼(勝手に作った言葉)になり、認めたくはないが近視の眼鏡を外した方がよく見える、そんな状態で作業をするから薄暗いところでは不器用さが二乗の比例して増していくのです。当然ベタベタは机、工具はもちろん自分で触った覚えのないところまで拡大していきます。その防止のために予め指にベビーパウダーを塗っておきます。「くだらない」とお思いでしょうがこの作業で一番の問題でした。



話は最初に戻ります。右の白いケースですがスポンジ妖怪との戦いに敗れ(破れ)戦線離脱、書き損じの葉書を切って作り直しとなりました(器用な方はそんな失敗はないと思われます)。スポンジ妖怪との戦いに終わった振動子(クラブニュース4月号参照)ですが、動作を守っていた元来のクッションが無くなってしまったわけですから、

代わりに探さねばなりません。あれこれ悩んだ末、カミさんの化粧箱より化粧用のコットンを拝借してスポンジ代わりのクッションとしました。分解したメカフィルを見ていると、この中を(実際は中ではなく全体)信号が通っていくのが不思議でたまりません。この振動子で通過帯域が決定し、455KHzの振動で信号を通してしまおうわけだから大した物だ。目に見える機械や配線の中を信号が通るのは、SWL時代のワクワクした気分を思い出させてくれます。大した技術も無く、測定器もないシロウトが日曜大工さながらにいじり回すには、この時代のRigはちょうど良い機械かも知れない。こんな部品までバラせるのは20年前のRigまでかもしれませんね。

尚、写真を提供いただいたJA7KVD大森さんより次のようなコメントを頂きました。

洗浄液はアルコール系よりも除光液(エナメルリムーバー)が最適です。除光液に浸して5分もすればスポンジも全部溶けてしまいます。

トランスデューサの線を切らないように、またエリンバーの部分を傷つけないように絵筆等で少々なでてやれば完璧でしょう。

ベビーパウダーについては確証がないのではっきり否定は出来ませんが、主成分の酸化亜鉛とタルク(含水珪酸マグネシウム)は科学的に安定で、材質としては問題ないと思いますが、一緒に添加されている香料他の成分が悪さをしませんでしょうか。また環境にもよりますが吸湿により固着の懸念も考えられます。

私はやはりクッションとしてはシリコン系のスポンジをおすすめします。これはオリジナルのスポンジの様にべたべたにならないのでグッドです。

de JA7KVD

## フィールドデーコンテスト

盛岡クラブは今年もフィールドデーコンテストにJA7YCE/7で参加します。移動先は上閉伊郡宮守村の寺沢高原です。数年前に朽ちた東屋も立派に再建されています。

日時 8月2日(土)21:00~3日(日)15:00

場所 上閉伊郡宮守村寺沢高原(R396を南下、宮守村に入って最初の信号十字路(しらいし屋の所)を「稲荷穴」方面へ左折、しばらく行くと左側に酒屋があるので、そこから右折、山道を道なりに進み、のぼり旗の所を左折)

申込 参加希望者はJA7JHTまで申し込んで下さい。(参加費1人1,000円)(TEL.019-641-4600 mail:ja7jht@jarl.com)

その他 ・フルに参加できない方、部分参加でも構いません。  
・すぐ近くに名水として知られる「稲荷穴」があり、キャンプ場もありますので、ご家族でキャンプがてら参加されてはいかがでしょうか？

## 岩手県支部ハムの集い

先月号でお知らせしましたが、参加される方はお早めにお申し込み下さい。

日時 平成15年7月20日(日) 10:00~15:00頃

申込先 〒0250-0021 盛岡市中央通り2-10-35 秋山 方  
JARL岩手県支部 ハムの集いin沢内 係

## Q&Aコーナー

Q:私は開局して7年経ちましたが、この前生まれて初めて外国とQSOしました。50MHzでVKと交信できたので、是非QSLカードを交換したいのですが、時間の書き方がわかりません。オーストラリアと日本は時差が1時間あるようなのですが、どのように記入したらよいのでしょうか？

それと、是非QSLカードを交換したいので、直接郵便で送りたいのですが、相手の住所はどうやって調べたらよいのでしょうか？

A:まずは初のDX-QSOおめでとうございます。今の時期、50MHzはEスポのシーズンですから、思いがけない所と交信できることがありますね。

まず、QSLカードの書き方ですが、この際おさらいをしたいと思います。

## 相手局のコールサイン

To Radio の下の空欄に記入します。その右側の枠はJARL転送枠ですので、JARL経由で送る場合はこの枠内にも記入します。DX局等でQSLマネージャーがいる場合には、To Radioには受信した相手局を記入し、マネージャーのコールサインを枠内に記入しますが、枠の前にViaと書いて下さい。これは、枠内の局を経由してTo Radioの局に送って下さいという意味です。

## 交信を証明する

QSLカードは交信証明書ですので、交信を証明するという文言を入れなくてはなりません。

Confirming(確認する)の次を、交信証明であればOur QSOの前の  をチェックし、SWLへの受信証明ならUr Reception Reportの前の  をチェックします。

## 交信年月日 (DATE)

西暦で記入するのが一般的です。月日は数字だけ書くと、どちらが月か日か不明確ですので、「1 Jul. 2003」のように記入します。ただし、DXの場合、例えば日本時間7月1日朝07:00に交信したとすると、UTCでは6月30日22:00になりますので注意が必要です。

## 交信時刻

JSTとUTCがあり、どちらか一方にチェックを入れます。JSTはJapan Standard Time(日本標準時)で、UTCとはCordinated Universal Time(世界協定時)のことで、グリニッジ標準時と同じと考えて下さい(厳密にはちょっと違いますが...)。すなわちJSTから9時間引いた時刻です。外国局との交信にはこのUTCを記入しますので、相手国との時差とかを考慮する必要はありません。なお、この場合、交信開始時刻を記入するのが一般的です。

## RSTレポート

RSについては前回述べましたので、今回は最後のTについてです。これは電信による通信におけるTone(音調)をあらわすもので、次の基準によります。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 ジャミングのような音    | 6 少しビューという音が伴った音   |
| 2 ハム音が非常に多い音    | 7 少しハム音のある直流音      |
| 3 ハム音がかなり多い音    | 8 ほんのわずかなハム音のある直流音 |
| 4 ハム音がある耐えられない音 | 9 完全な直流音           |
| 5 きれいに音調された音    |                    |

## 周波数

このカードにはMHzとありますので、交信周波数を7とか14と記入します。7.005のように交信周波数そのものを記入する方もありますが、一般的にはバンドという概念ですので7とか14で構いません。周波数ではなく40m(7MHz)とか20m(14MHz)のように波長で書く場合もあります。

## 電波型式

通常はお互いに同じ型式で交信するので、2Wayで表します。F3とかA3Jと記入する方がいますが、これは古い表記法で国内でしか通用しません。新しい表記法ではF3EとかJ3Eとかになりますが、それよりは、FMとかSSBとかCWと記入するのがよいでしょう。

## その他

あとは、説明の必要はないと思いますが、この見本は少々古いのでRigのパワー表記がInputになっています。現在はOutput(出力)を記入するのが一般的です。

The image shows a QSL card form with the following fields and labels: 'To Radio' (with five empty boxes), 'Confirming: Our QSO' (with a checkbox), 'Ur Reception Report' (with a checkbox), 'DATE' (with a date field), 'JST' (with a checkbox), 'UTC' (with a checkbox), 'AST' (with a checkbox), 'MHz' (with a field), '2Way' (with a field), 'Rig.' (with a field), 'Ant.' (with a field), 'Pwr.' (with a field), and a 'Post Card' stamp area at the bottom right.

尚、この例では自局のコールサイン等がありませんが、Rmksの下の所にも印刷する等して、この面だけですべての情報が伝わるようにするのがよいでしょう。

それと、証明の意味でハンコやスタンプをつく方がいますが、国際的にはハンコは通用しないのは言うまでもありません。漢字でもローマ字でも構いませんので、自筆でサインするようにしましょう。

次に相手局の住所ですが、国際コールブックのCD-ROM版等を使って調べるとよいでしょう。現在はインターネットでも簡単に調べることができます。以下に代表的な2つサイトのURLを載せましたので、参考にして下さい。

QRZ.com <http://www.qrz.com/>  
Buckmaster [http://www.buck.com/cgi-bin/do\\_hamcall](http://www.buck.com/cgi-bin/do_hamcall)

尚、カードを送る際には、SASEといって自分の住所を記入し、相手国から日本までの郵便切手を貼った封筒を同封するのですが、相手国の切手の入手が困難ですので、その代わりにIRC(国際返信切手券)を同封します。これはどこの国であれ、その国の航空便相当の切手と交換できるという券で、郵便局で150円で入手できます。その他にグリーンスタンプといって米1ドル紙幣(緑色で印刷されている)を同封する方法もありますが、\$1では航空便の切手代を賄えない国もあつたりしますのでちょっと注意が必要です。

de JA7JHT

## 定例ミーティング

7月の定例ミーティングですが、会場の都合により日程を7月11日に変更します。

日時 7月11日(金) 18:30~  
場所 みたけタクシー2F会議室  
内容 災害とアマチュア無線について

## 編集後記

『最近、アマチュア無線を取り巻く環境が変化しようとしています、無線を使用した高速ネット通信や、ADSLの高速化に伴うハムバンドへの影響等、数々の話題が取りざたされてきております。総務省ではこの様な情報を報道資料としてインターネット上に公開しております、パブリックコメントの募集等も出ておりますので一度ご覧下さい。』と先月も書きましたが、最近又PLCの問題が取りざたされています。微弱な信号を扱うアマチュア無線の世界には大きな影響を与えそうです。

一部には「電子タグ」の使用に伴う430MHzへの影響なども懸念されております。是非、下記のURLから最近の動きを情報として捕らえ、パブリックコメント等による意見をお送り下さい。来月号は下記よりダウンロードしたATFDを使った変更申請の顛末記を掲載いたします。

URL <http://www.soumu.go.jp/s-news/index.html>

最近、アマチュア無線を取り巻く環境が変化しようとしています、無線を使用した高速ネット通信や、ADSLの高速化に伴うハムバンドへの影響等、数々の話題が取りざたされてきております。総務省ではこの様な情報を報道資料としてインターネット上に公開しております、パブリックコメントの募集等も出ておりますので一度ご覧下さい。

原稿を募集しています、様式は、手書き、e-mailどちらでも結構です、ご連絡いただければこちらから取りにお伺いいたします、お気軽にご連絡下さい。 de JA7QQQ

JA7MFL 020-0108 盛岡市東黒石野1-8-10 須藤 裕  
電話 019-661-7466 メール ja7mfl@jarl.com

JA7QQQ 028-3303 紫波町高水寺字田中177-24 中村 浩  
電話 019-672-2958 メール genkou@radiomorioka.com